

みずほCustomer Desk Report 2018/03/15号(As of 2018/03/14)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	106.70
TKY 9:00AM	106.54	1.2392	132.03	1.3972	0.7859
SYD-NY High	106.75	1.2413	132.28	1.3996	0.7916
SYD-NY Low	106.07	1.2347	131.03	1.3925	0.7851
NY 5:00 PM	106.33	1.2368	131.53	1.3963	0.7879
NY DOW	24,758.12	▲ 248.91	日本2年債	-0.1500	0.00bp
NASDAQ	7,496.81	▲ 14.20	日本10年債	0.0500	0.00bp
S&P	2,749.48	▲ 15.83	米国2年債	2.2600	0.40bp
日経平均	21,777.29	▲ 190.81	米国5年債	2.6122	▲ 0.85bp
TOPIX	1,743.21	▲ 7.82	米国10年債	2.8180	▲ 2.56bp
シカゴ日経先物	21,620	▲ 30.00	独10年債	0.5900	▲ 2.65bp
ロンドンFT	7,132.69	▲ 6.09	英10年債	1.4375	▲ 4.90bp
DAX	12,237.74	16.71	豪10年債	2.7495	▲ 6.25bp
ハンセン指数	31,435.01	▲ 166.44	USDJPY 1M Vol	7.98	▲ 0.03%
上海総合	3,291.38	▲ 18.86	USDJPY 3M Vol	8.33	0.17%
NY金	1,327.20	0.10	USDJPY 6M Vol	8.44	0.04%
WTI	60.88	0.17	USDJPY 1M 25RR	-1.03	Yen Call Over
CRB指数	194.49	0.21	EURJPY 3M Vol	8.23	0.07%
ドルインデックス	89.70	0.04	EURJPY 6M Vol	8.67	0.09%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月14日	8:50	日	日銀議事要旨「多くの委員が『極めて緩和的な金融環境の維持が必要』との見解」	
	16:00	独	CPI(前月比/前年比)	2月 0.5%/1.4% 0.5%/1.4%
	21:30	米	小売売上高(前月比)	2月 -0.1% 0.3%
	21:30	米	PPI(前月比/前年比)	2月 0.2%/2.8% 0.1%/2.8%

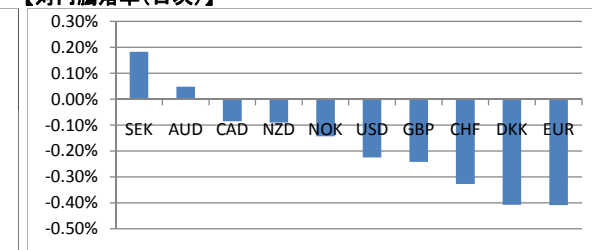
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月15日	16:45	仏	CPI(前月比/前年比)	2月 -0.1%/1.2% -0.1%/1.2%
	21:30	米	NY連銀製造業景況指数	3月 15.0 13.1
	21:30	米	新規失業保険申請件数	- 228k 231k
	21:30	米	フィラデルフィア連銀景況指数	3月 23.0 25.8

【ドル円相場】



【対円騰落率（日次）】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.60-106.60	1.2320-1.2420	130.50-132.00

【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は下落する展開となった。トランプ政権の先行き不透明感等を背景に106円台前半から半ばにかけての上値の重い推移が続く中、米2月小売売上高が市場予想を大幅に下回る結果となったことや、トランプ政権が中国からの輸入品のうち最大600億ドルに相当する製品に関税を課することを計画と報じられたこと等からじり安推移となり一時106.07まで下落した。本日のドル円相場は上値の重い推移を予想。トランプ政権への先行き不透明感に加えて、昨日の米2月小売売上高の冴えない結果も相俟ってドルは買われづらい状況。マーケットのリスクセンチメントも決して良好ではなく、円が買われやすい地合いであることもドル円の重石となりそうだ。

東京	日銀議事要旨(1/22-23開催分)において、多くの委員が「極めて緩和的な金融環境を維持していくことが必要」との見解を示したものの、相場の反応は限定的となり、東京時間のドル円は106.54レベルでオープン。序盤は106.75まで確りと推移したが、日経平均株価が下落する中、ドル円はじりじりと値を下げる展開に。黒田日銀総裁の参院予算委員会での発言に対する反応は限定的となったものの、接戦となった米ペンシルベニア州の連邦下院補欠選において民主党候補が勝利宣言を行う中、ドル円は一時106.39まで下落。その後106.54レベルまで戻して海外市場へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は106.54レベルでオープン。一時106.72まで買われる局面が見られるも、米国の政治をめぐる不透明感が煽る中、徐々にドル安傾向となり、106.44レベルでNYに渡った。ユーロは、1.2398レベルでオープン。ドラギECB総裁が「ユーロ高が今後インフレの重しになる恐れがある」と言及したことにより、1.2362まで低下。1.2364レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	106.44レベルでNYオープン。朝方発表された米2月小売売上高が3ヶ月連続での減少となり、市場予想を大幅に下回ったことを受けドル円は軟調推移。その後、一旦は反発したものの、イ列アのユーロ懐疑派の極右政党「北部同盟」のマッテオ・サルビニ党首が「ユーロは欠陥通貨」「『五つ星運動』との連立は可能だ」と発言したこと、ロシア外交官23人に退去命令を出し資産凍結も示唆したイ列アとロシアの関係悪化懸念を背景にリスクオフ地合いが進行し、米株・米金利の低下と共に安値106.07まで下落した。しかし、米長期金利が反発する動きを横目にドル円も106円台半ばまで回復。その後は方向感なく推移し、106.33レベルでクローズした。一方、1.2380レベルでNYオープンしたユーロは、米指標を受け1.2396まで上昇したが、ロンドン時間のドラギECB総裁の発言や、上記イ列ア政局報道を受けて1.2347まで下落。その後は1.23台後半まで回復する流れとなり、1.2368レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:森谷・西谷